記者発表資料

平成２９年１２月　８日
東 北 地 方 整 備 局
岩 手 河 川 国 道 事 務 所

国道４号　大國神社前交差点、桜町交差点において安全性が向上

岩手河川国道事務所では、国道4号　盛岡市の大國神社前交差点、紫波町の桜町交差点において追突事故等の削減を目的に右折レーンを設置し、平成29年3月31日に供用しました。供用後6ヶ月の整備効果をとりまとめましたのでお知らせします。

■ 大國神社前交差点　（国道４号　盛岡市）

〇対策から半年経過時点で、追突事故件数が１件

〇交差点直前での急ブレーキが半減

〇右折車を対向車が衝突回避する回数がほぼ解消

〇右折待ち車両に対する交差点直前での回避挙動がほぼ解消

■ 桜町交差点（国道４号　紫波町）

〇対策から半年経過時点で、追突事故件数が０件

〇交差点直前での急ブレーキが３割減

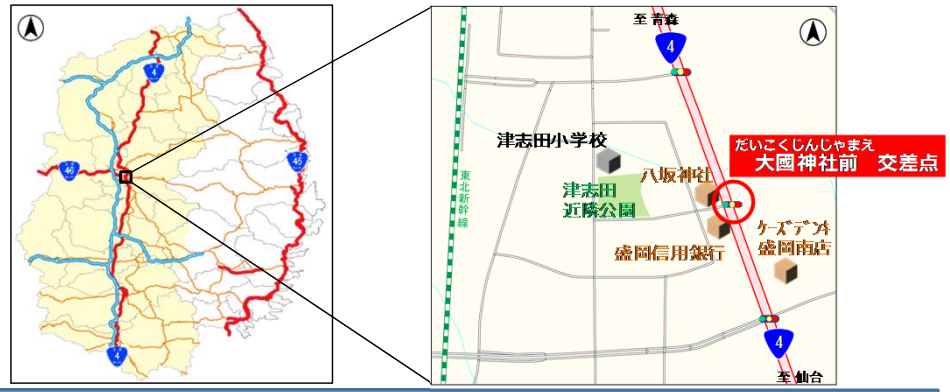
〇利用者アンケートにより、安全性・走行性の向上を実感

＜発表記者会：岩手県政記者クラブ、東北専門記者会＞

【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　岩手河川国道事務所
〒020-0066　盛岡市上田４丁目２－２
副所長（道路）　十枝内　美範（内線205）
電話　019－624－3131（代表）
交通対策課長　岩渕　誠　（内線471）
電話　019－624－3291（交通対策課直通）

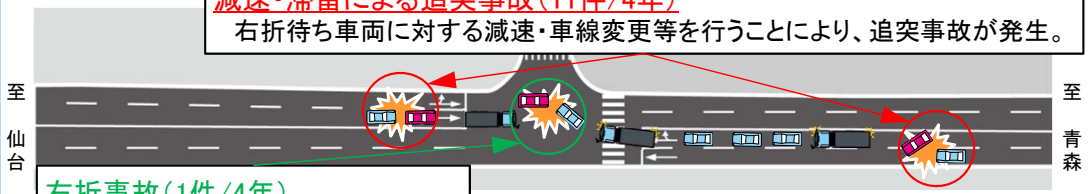
国道4号　大國神社前交差点（岩手県盛岡市津志田）
右折レーン設置により、右折車に対する回避回数がほぼ解消、急ブレーキが半減

【位置図】



対策前の事故発生状況　（H18～21死傷事故件数）

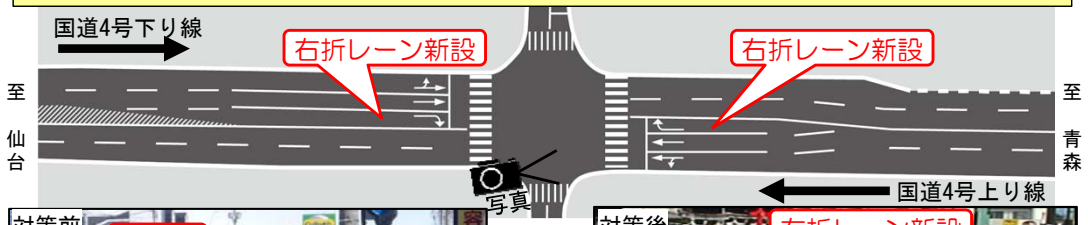
減速・滞留による追突事故（11件/4年）
右折待ち車両に対する減速・車線変更等を行うことにより、追突事故が発生。



右折事故（1件/4年）
無理な右折により右折事故が発生。

対策内容

右折レーンの新設：無理な右折の回避、右折車の後続直進車の減速・車線変更等が緩和



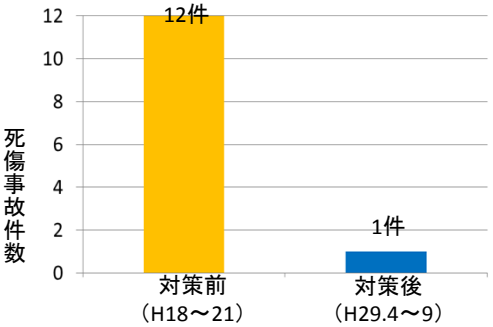




整備効果

◆ 事故件数の変化

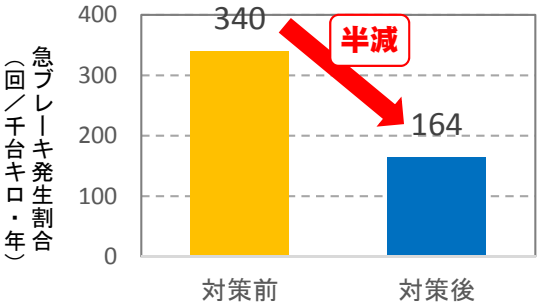
- 減速・滞留等による追突事故は1件。



※　対策前：交通事故データ（4年間確定値）
　　対策後：交通事故データ（6ヶ月速報値）

◆ 急ブレーキの変化

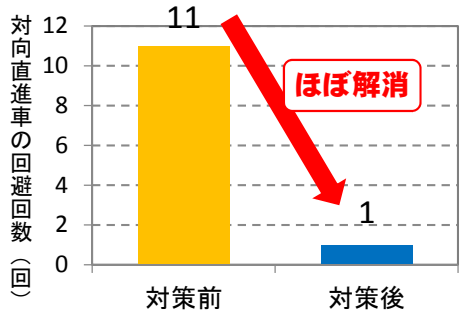
- 上り線の交差点直前での急ブレーキ発生割合が半減。



※　対策前：4ヶ月（H28.4～7）、対策後：4ヶ月（H29.4～7）
※　ETC2.0急ブレーキ（前後加速度-0.3G以下）の発生回数により算出

◆ 右折車回避行動の変化

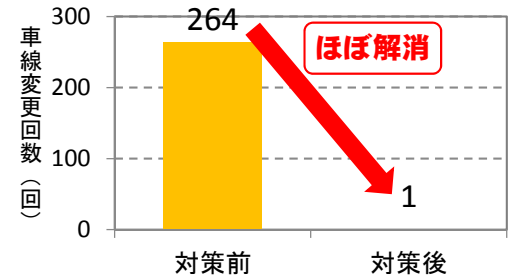
- 右折車を対向車が衝突回避した回数は、ほぼ解消。



※　対策前：H23.12.21、対策後：H29.7.6
※　右折車を対向車が衝突回避した回数を計測

◆ 上り線の車線変更回数の変化

- 上り線では、右折待ち車両に対する交差点直前での直進車の回避挙動がほぼ解消。



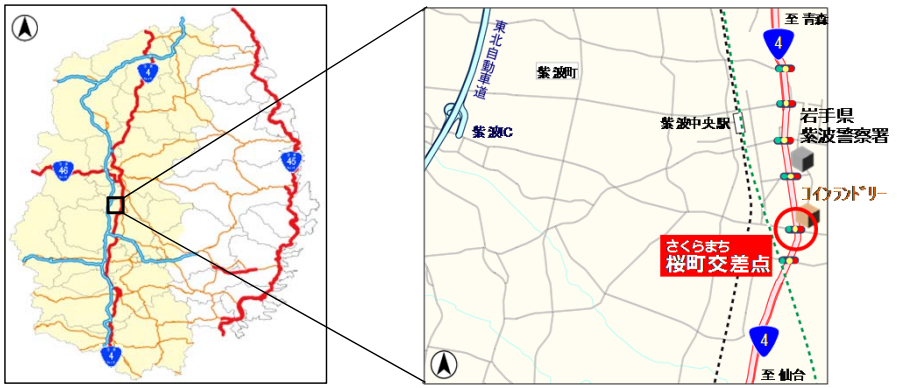
※　対策前：H23.12.21、対策後：H29.7.6
※　右折待ち車両を回避するため、直進車が車線変更した回数を計測

今後の展開

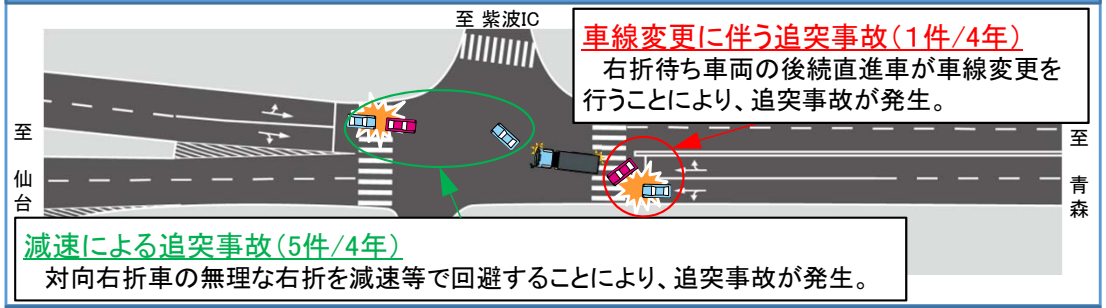
右折レーンの追加により、交差点直前での急ブレーキ、車線変更回数が減少しました。今後は、引き続きデータの蓄積により対策効果の確認を行います。

国道4号　桜町交差点（岩手県紫波郡紫波町桜町）
右折レーン設置により、交差点直前の急ブレーキが減少し、追突事故がゼロ

【位置図】



対策前の事故発生状況　（H19～22死傷事故件数）

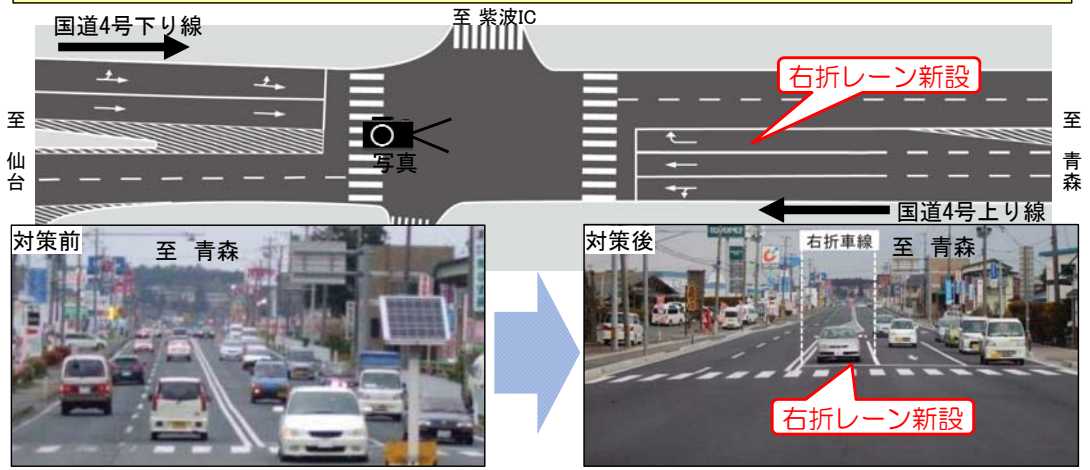


車線変更に伴う追突事故（1件/4年）
右折待ち車両の後続直進車が車線変更を行うことにより、追突事故が発生。

減速による追突事故（5件/4年）
対向右折車の無理な右折を減速等で回避することにより、追突事故が発生。

対策内容

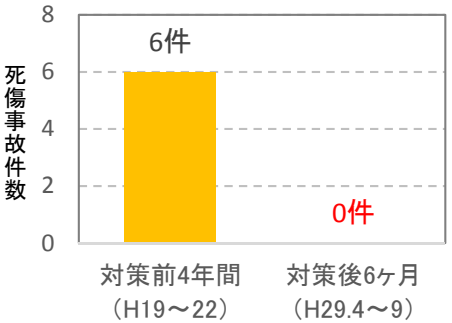
上り線右折レーンの新設：上下線ともに右折時および対向車からの視認性の向上により、交差点直前の減速等の回避が緩和



整備効果

◆ 事故件数の変化

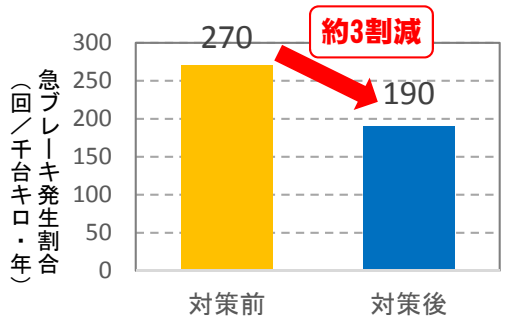
- 減速・車線変更等の回避による追突事故はゼロ。



※　対策前：交通事故データ（4年間確定値）、
対策後：交通事故データ（6ヶ月速報値）

◆ 急ブレーキの変化

- 上り線の交差点直前での急ブレーキ発生割合が約3割減少。



※　対策前：4ヶ月（H28.4～7）、対策後：4ヶ月（H29.4～7）
※　ETC2.0急ブレーキ（前後加速度-0.3G以下）の発生回数により算出

◆ 利用者の実感

- 右折レーン設置により、安全性・走行性が向上。

【紫波ICを利用される物流事業者の声】
➢右折車を回避するための急激な速度減少がなくなり、安全になったと感じる。
➢対策前は、前方に右折車がいる場合、直進車まで右折車を待つ必要があったが、対策後はなくなった。
※　企業ヒアリング（H29.7実施）





今後の展開

右折レーンの追加により急ブレーキが減少し、対策後は追突事故の発生もなく、利用者の安全性が向上しました。今後は、引き続きデータの蓄積により対策効果の確認を行います。